

○国土交通大臣賞授賞者の取組について（申請順）

受賞者	表彰テーマ・概要
株式会社大林組大阪本店 新名神神戸 JCT 工事事務所	<p>『循環型社会の形成に向け、3R 活動を含めたゼロエミッション活動の推進』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3R の必要性や、個別品目の 3R 手法をまとめた、現場独自の「ゼロエミ・3R 活動マニュアル」に基づき、3R 活動に取り組むとともに、マニュアルの他現場への水平展開を実施。 ・ 独自の管理システムを採用し、3R 活動に対する「事前計画」、「工程確認」、「実施結果の記録」を着実に実施。
株式会社大林組本社設計本部設計ソリューション部 株式会社大林組広島支店松江工事事務所	<p>『今まで鉄骨造が主流であった大スパンの倉庫を木構造とすることによる 3R の取り組み』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LVL(単板積層材)をボルト等で縫いあわせることで、解体性の向上や、解体後の再使用を可能とした、つづり材技術を開発。 ・ 部材のプレカットや、構造用合板を切断せずに使用できるスパン割の工夫により端材等廃棄物の発生を抑制。
鹿島建設株式会社横浜支店 県立がんセンター重粒子線 JV 工事事務所	<p>『新工法～杭頭^{はつ}斫りなし・型枠支保工の合理化～による 3R の実現』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深層混合処理工法とバックホウ等による地盤改良を組み合わせた工法により、杭頭斫りにより生じるコンクリート殻 3,710t の発生を 0t に抑制。 ・ 混合廃棄物排出原単位 1.0kg/m²、リサイクル率 95.8%を達成。
大成建設株式会社東京支店(仮称)大手町 1-6 計画作業所	<p>『建設作業所における継続的な多品目分別活動と「有価物化」・「広域認定制度活用」の徹底による廃棄物排出量の削減』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 年間に及ぶ分別手法改善等の検討結果を生かし、可能な限り「有価物」として排出するため、延べ 106 品目もの多品目分別を実施。 ・ 混合廃棄物排出原単位 0.05kg/m²、リサイクル率 98.2%を達成。
(株)熊谷組関西支店建築事業部建築部(仮称)RIC ウェストコート 7 番街 2 期新築工事 (AB 工区) 積水ハウス(株)大阪マンション事業部	<p>『大規模なマンション現場における発注者と連携した 3R 活動・ゼロエミッションへの挑戦』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に全工種で発生しうる品目の把握、廃棄物となる可能性を整理し、各品目に応じてプレカット等の排出抑制策や、搬出先の中間処理施設を設定する等、計画的な 3R 活動を実施。 ・ その結果、混合廃棄物の発生量を 60%削減。
阿部野橋ターミナルビルタワー館建設工事共同企業体(竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組)	<p>『「想いをひとつに日本一のものづくり」 日本最高峰タワーの新築工事作業所における 3R 活動の実施』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掘削した発生土とセメントミルクを混練し、ソイルセメントとして山留め壁・地下壁に利用する工法である、TSW 工法により、発生する建設汚泥の発生量を 50%削減。 ・ 同社他現場より発生した汚泥を、再生土処理し埋戻し材として利用するなど、建設汚泥対策を実施